外国語活動・外国語

外国語活動・外国語科では、英語によるコミュニケーションを図る素地・基礎となる資質・能力 の育成に向け、目的や場面、状況等を設定し、実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う 言語活動の充実を図ることが大切です。

外国語活動・外国語科の授業づくりのポイント

- 「CAN-DO リスト形式」による学習到達目標の設定及び評価の明確化
- 児童が思考を働かせ、考えや気持ちを伝え合う言語活動の充実
- 児童一人一人の学習状況に応じた ICT の効果的な活用

「CAN-DO リスト形式」による学習到達目標の設定及び評価の明確化

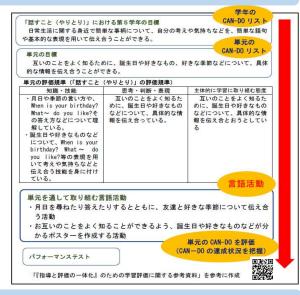
外国語科では、各学校における児童の発達の段階を踏ま え、領域別の学年ごとの「CAN-DO リスト形式」による学習 到達目標(以下 CAN-DO リスト)を定める必要があります。

単元を構想する際は、学年ごとの目標を踏まえ、単元ごと の目標及び評価規準を単元の中心となる言語活動に即して設 定します。

CAN-DO リストは校内で共有し、定期的に見直し、改善 を図ることが大切です。学級担任や外国語担当の教員だけ ではなく、複数の教職員で見直しを図ることで、校内で共 通理解が図られ、系統的な外国語の指導につながります。

CAN-DO リストや評価についてもっと知りたい ⇒「Can-Do 形式の学習到達目標作成とその活用」 YouTube mextchannel





児童が思考を働かせ、考えや気持ちを伝え合う言語活動の充実

外国語教育は、児童が、目的を達成するために英語を使用し、間違 いと修正を繰り返しながら理解を深め、活用できるよう、「実際に英 語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う活動しである言語活動を 充実させることが求められています。

言語活動は、児童が、「話したい」「何をどう話そうか」と感じるこ とができるよう、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を設 定することが不可欠です。題材については、児童が興味・関心をも ち、身近で具体的なものにすることが望ましいです。

【言語活動に必要な4つの要素】 ①伝え合う目的や必然性がある。



- ②相手意識をもって取り組むことができる。 ③実際に自分や相手の気持ちや考えを伝え合
- う「本物」のコミュニケーションである。 ④伝え合うことの喜びや意義を見出すことが できる。

言語活動についてもっと知りたい ⇒なるほど!小学校外国語① YouTube mextchannel



児童一人一人の学習状況に応じた ICT の効果的な活用

言語活動において、写真やイラスト、映像を活用して自分の思いや 考えを伝える、教科書の音声を繰り返し聞いたり、録音した自身の音 声を確認したりするなど、**児童が自身の学習状況に応じて学習方法を** 選択し、効果的に1人1台端末等の | CTを活用することが大切です。

デジタル教科書についてもっと 知りたい



⇒学習者用デジタル教科書の活用に **国際** よる指導力向上ガイドブック

<活動の流れ(例)>

導入 (一斉)

大型提示装置に投影 したデジタル教科書の 地図を基に説明し、本 時の見通しをもつ。

展開(個人)

各自でデジタル教科書や関連す るデジタル教材を活用し、本時の 目標を見通しながら、既習の語彙 や表現の発音等を確認する。

展開 (ペア)

各自が持つ「目的カー ド」をもとに、相手の必 要に応じた目的地にたど り着く道案内をし合う。

※分からな いときはデ ジタル教科 書を参照

まとめ (個別) 本時の活動から 学んだことについ て、各自で振り返 りを行う。